



会えたり
か?

作画 / 関あくあ
presented by The waidan



先輩 知らない です

そんなの

I don't know that.

伴奏していた彼の指は今、

私の膣内（ナカ）を乱してる

その時に会えたり
しませんか？







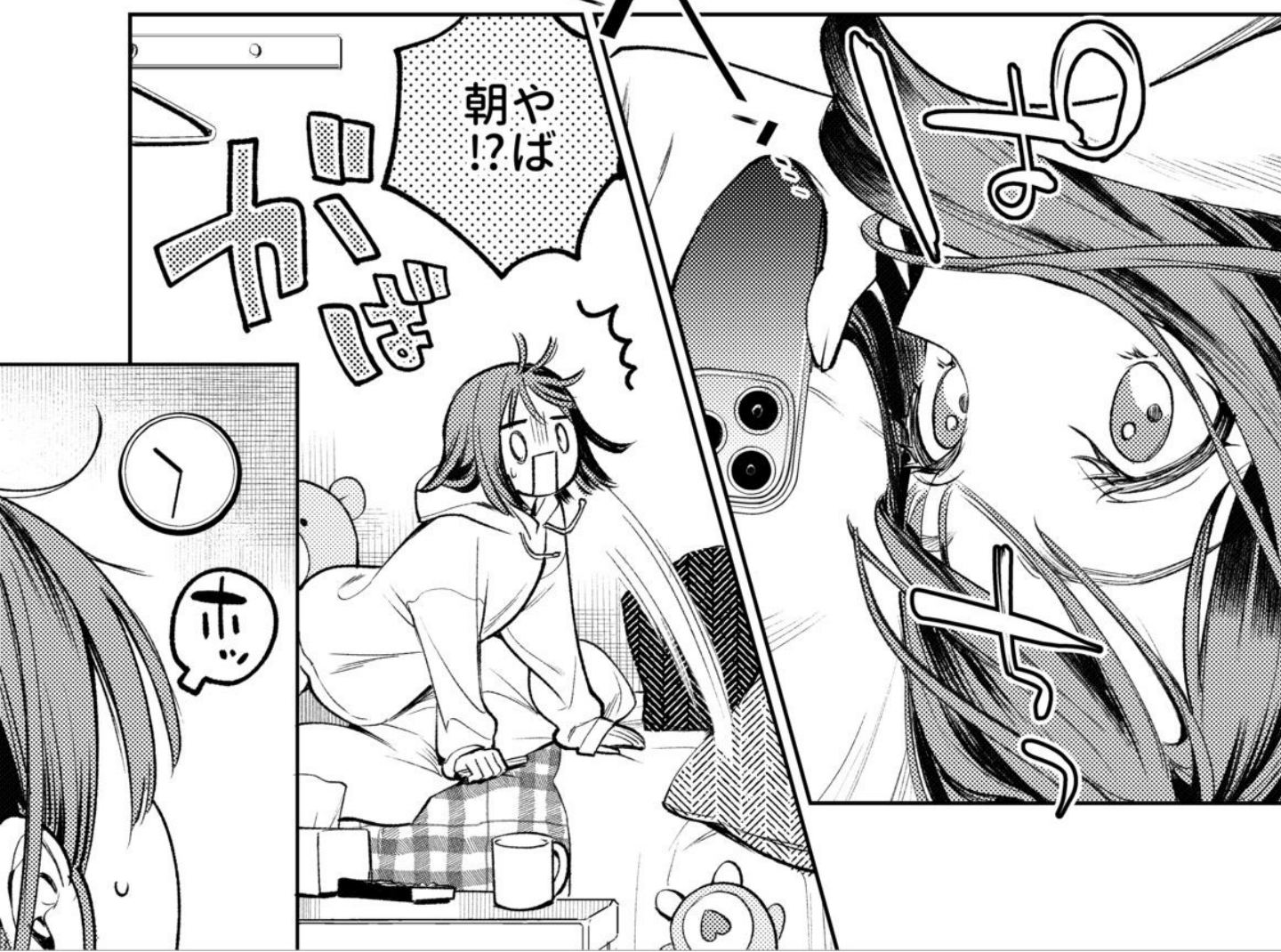
こっち



ほんとに
私なんかのこと...

せ...んぱい

信じられない？



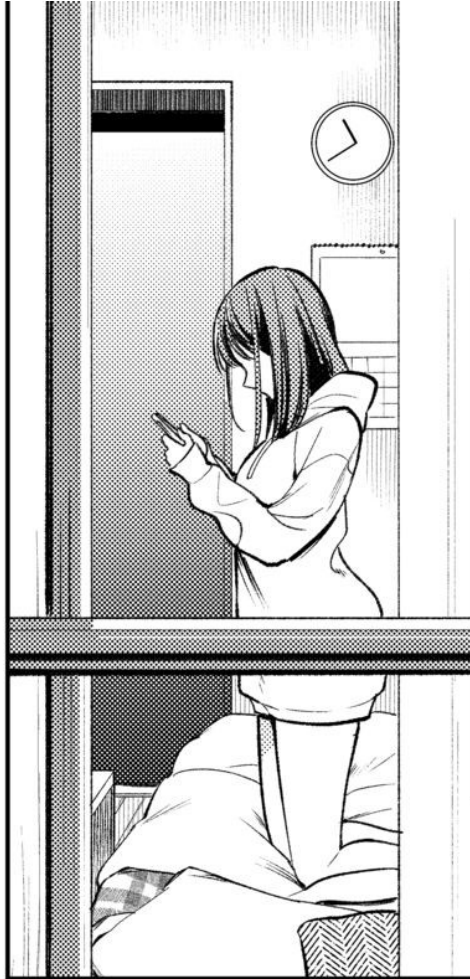


高校を卒業すると
目立ってた人は
みんな上京して

残ったのは
普通の面白
くない人ばかり

そういう
自分も
そのうち
入るんだろ





私のストーリーを見た
人の一覧に見慣れた
アイコンがあつた

毎日検索してまで
彼のSNSを見に
行っていたから
間違えるわけない

閲覧者



先輩……

せ……



……



なんで!?
監視してたの
バレた!?

やばいやつ
盛れないやつ
消さなきゃ



……な

中二の頃
一個上の先輩に
告白された

先輩は周囲に
比べて群を抜いて
成績が良く

顔立ちも綺麗で
田舎の公立校の中では
一目置かれていた

——— 交際は
長続きしなかつ
たけれど

その彼に
見初められた
ということだ

今でも私の
自尊心を支えて
いる———とさえ

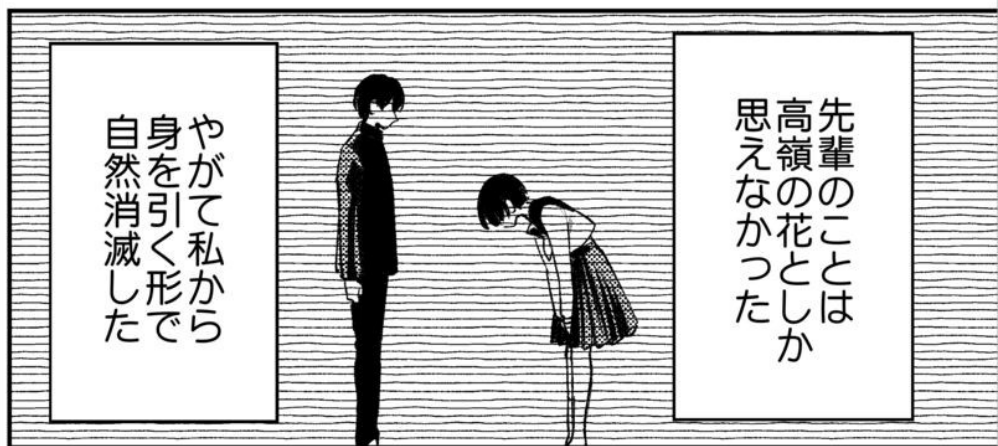
ホース:

かば
はっ



ストーリー更新
ついさっきだ！

あの年代の
カップルなら
ありがちなことだ



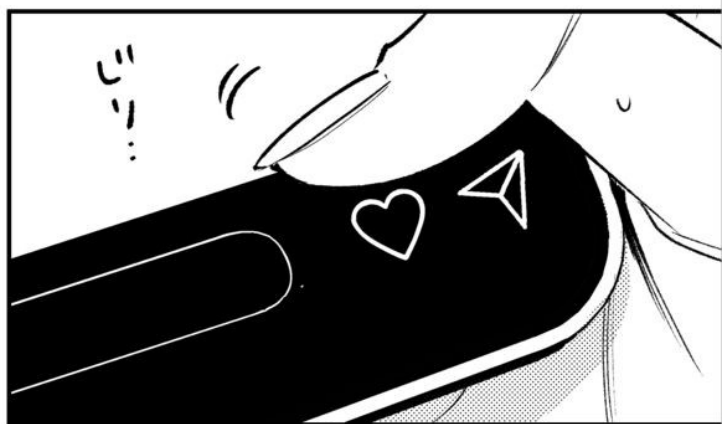
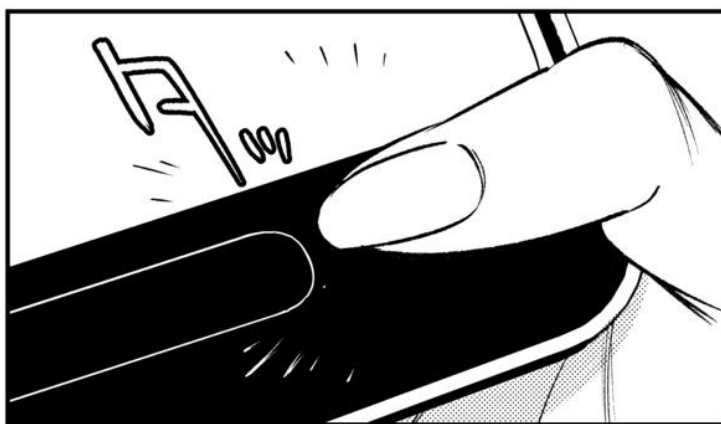
先輩のことは
高嶺の花としか
思えなかった

やがて私から
身を引く形で
自然消滅した

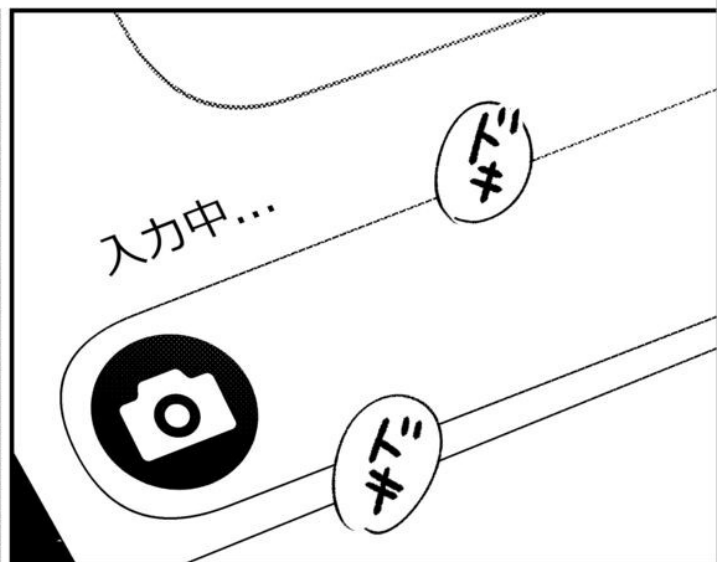
でも
本当は



本当は













じゃ
行こっか



じ自分で
片付けますっ



見境ない行為を
軽くする人
なのである



あっ
ちよっと……っ

早く
おいで

彼のやることなすこと
すべてにドキドキして

信じきれなくて
苦しくて

お別れしたことを
思い出す

かつこよく
なりすぎでしょ



けれど
私とて

あの頃のピュアな
少女ではない





先輩って今
何してるん
ですか？

今？普通に
大学生だよ



そうじゃなくて…
あほら
ピアノとか

サークルで
キーボード
やってるけど

…よく
覚えてるね



本当は全部
知ってる



今この男を
前にして私が
自覚するのは

もっと単純で、
不純な――

この間は
フェス

その前は高校の
友達とスノボに
行ってた

自撮りほぼ
上げないから
友達のツイッターまで
チェックしに行つて

先輩が映つてる
写真見つけた時は
嬉しかった

写真上げたら
絶対いろんな女から
DM飛んでくるから
やめてほしいけど…

じゅわ…

?

はっ

てっ…
手!

相変わらず
綺麗だなーっと
思つて!

……
中学の時も
言われたっけ







先輩のこと
本当に好き
だったんですよ



別れたのも

好きすぎて不安
だったからで



ふーん

じゃあもう
好きに
ならない？



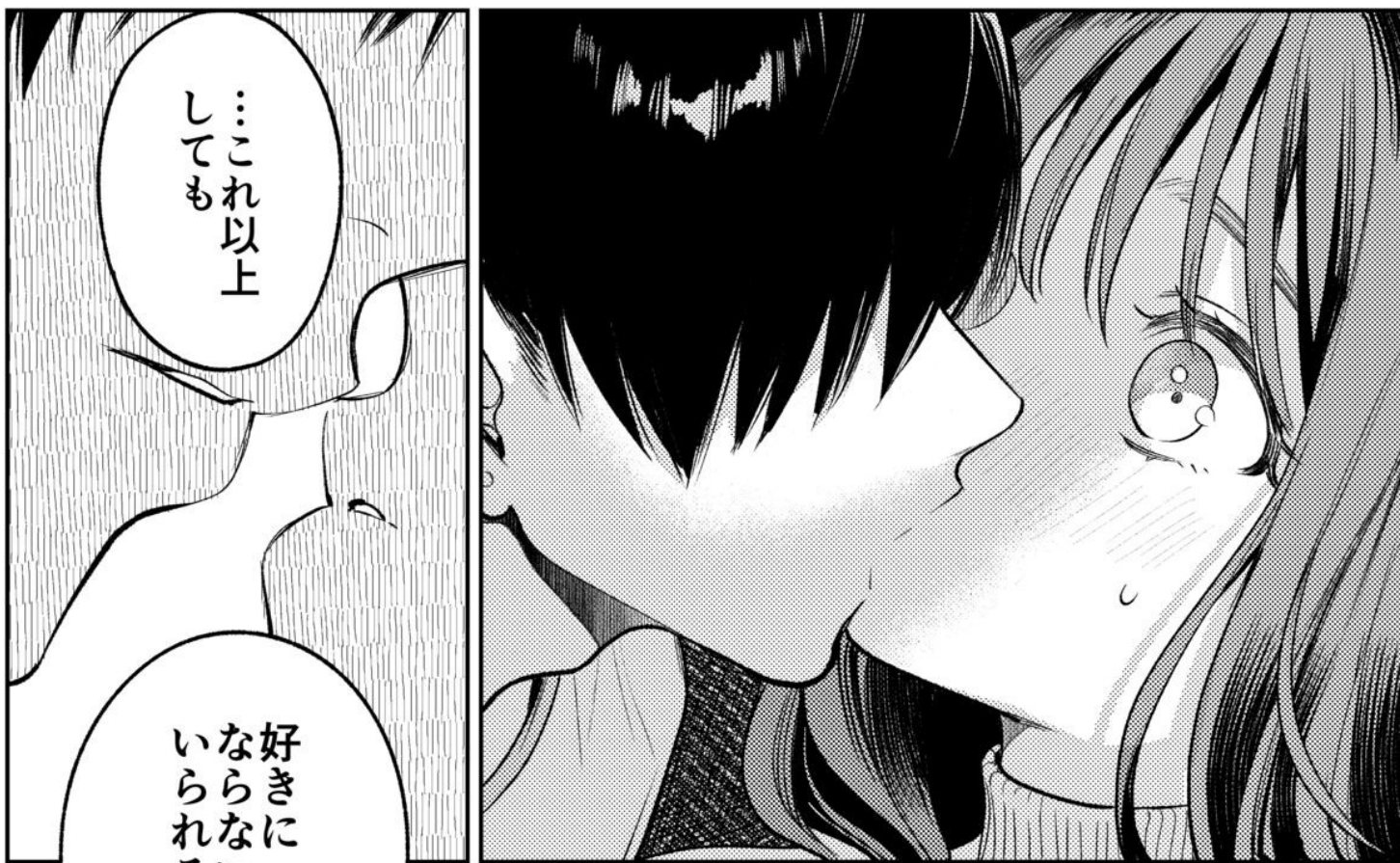
昔の話
なので



そうだったんだ
…知らなかった

なんかな
悔しいかな

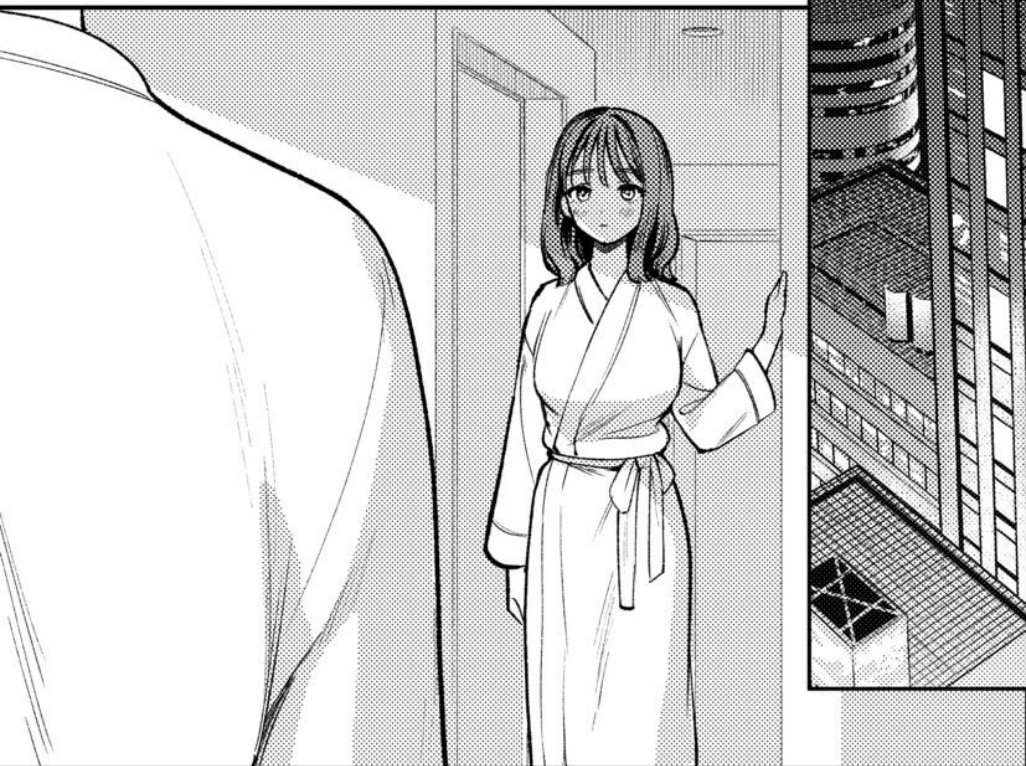
…すみません
今更中学の話
なんか



…これ以上
しても

好きに
ならないで
いられるの？





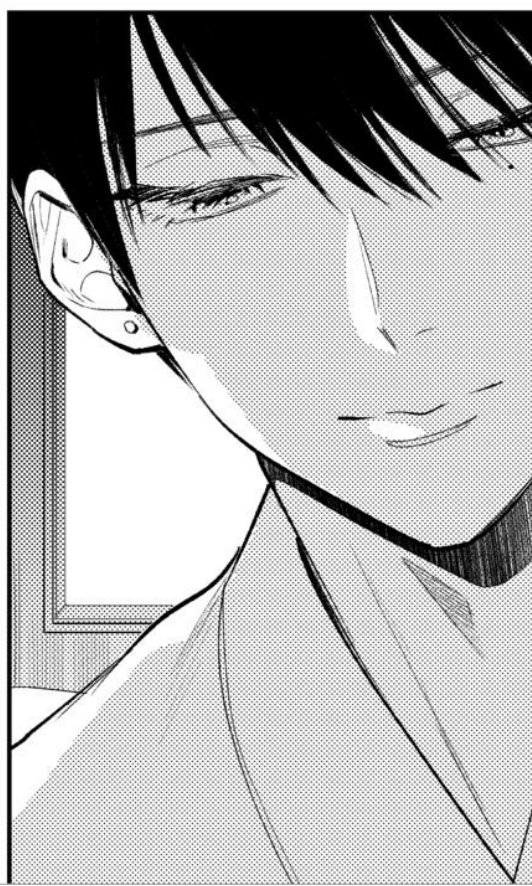
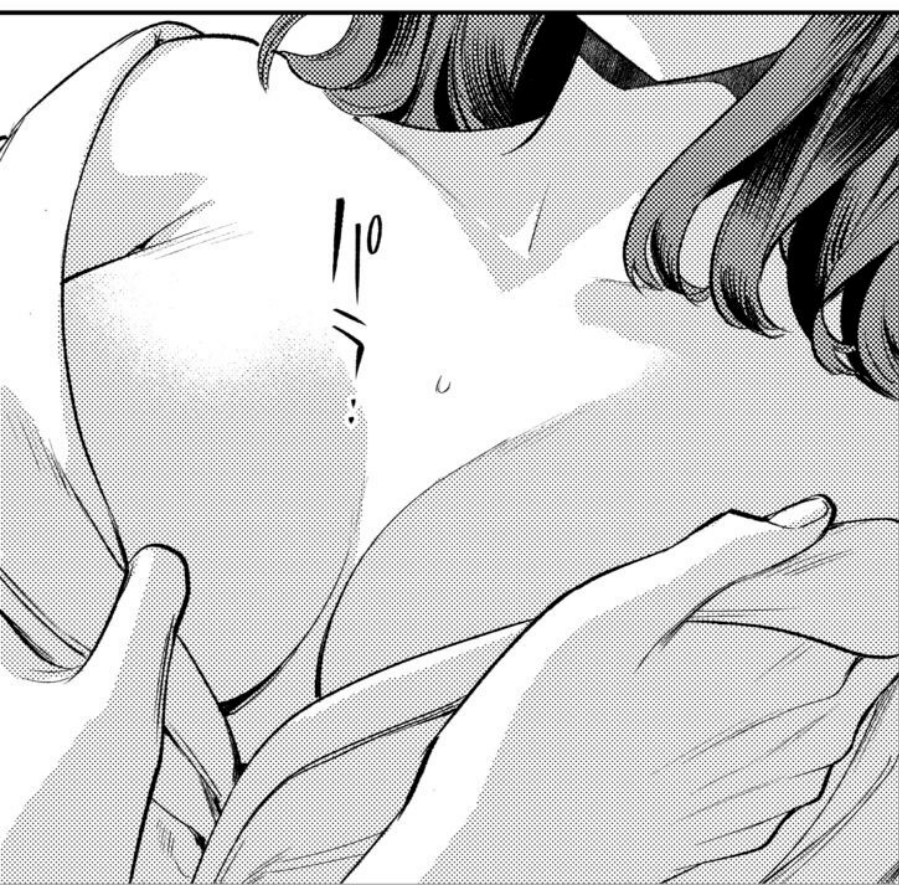
グ
ッ

わから
ないで
す



はい

…本当に
大丈夫？





手が…



先輩の



す…



ハ?

も…

おにや…



きゅ…

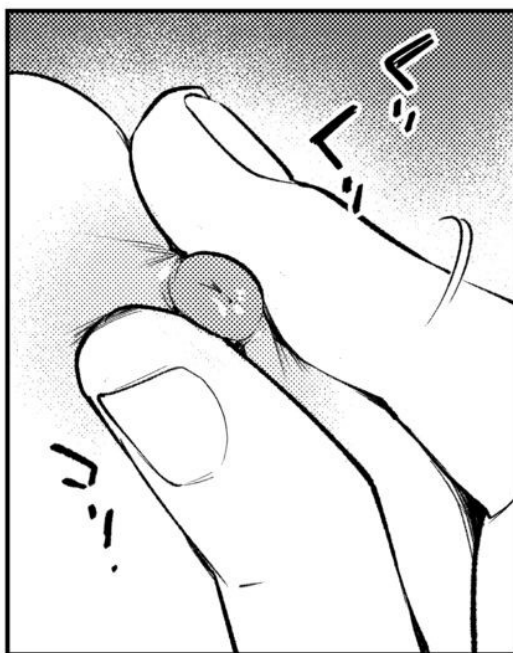
んっ…

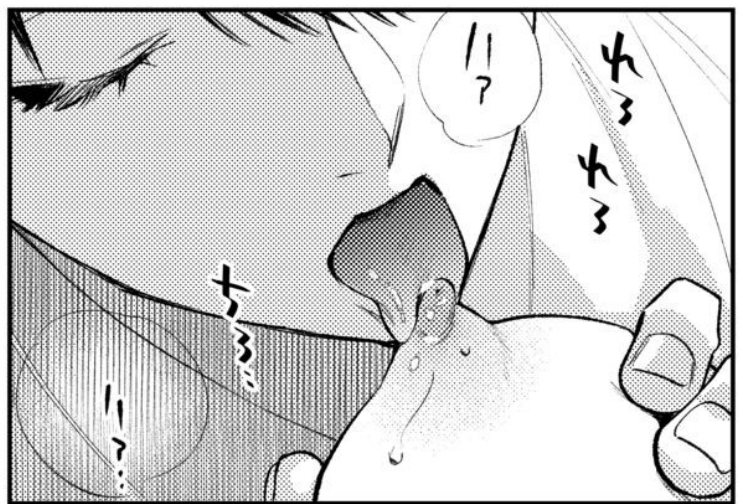
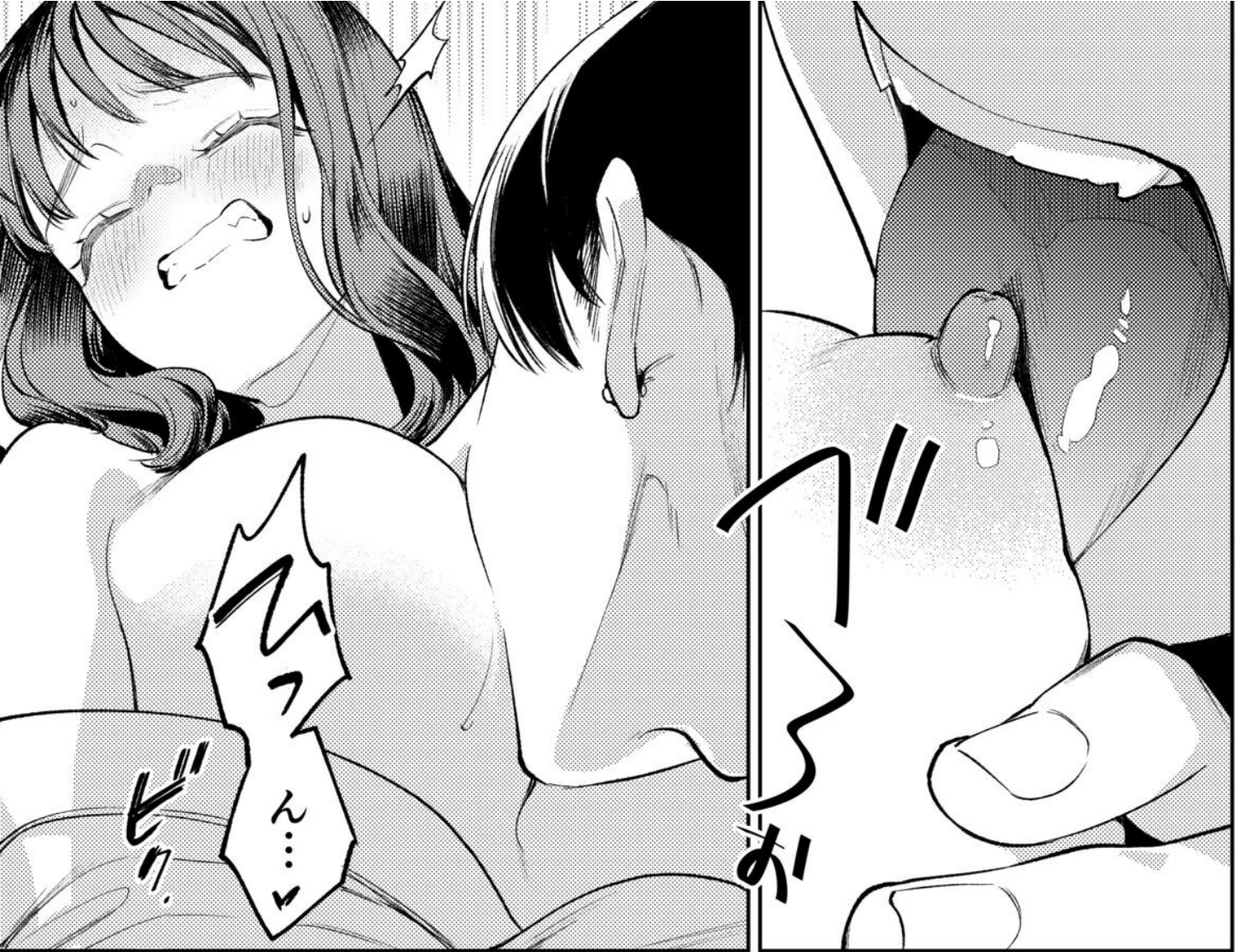


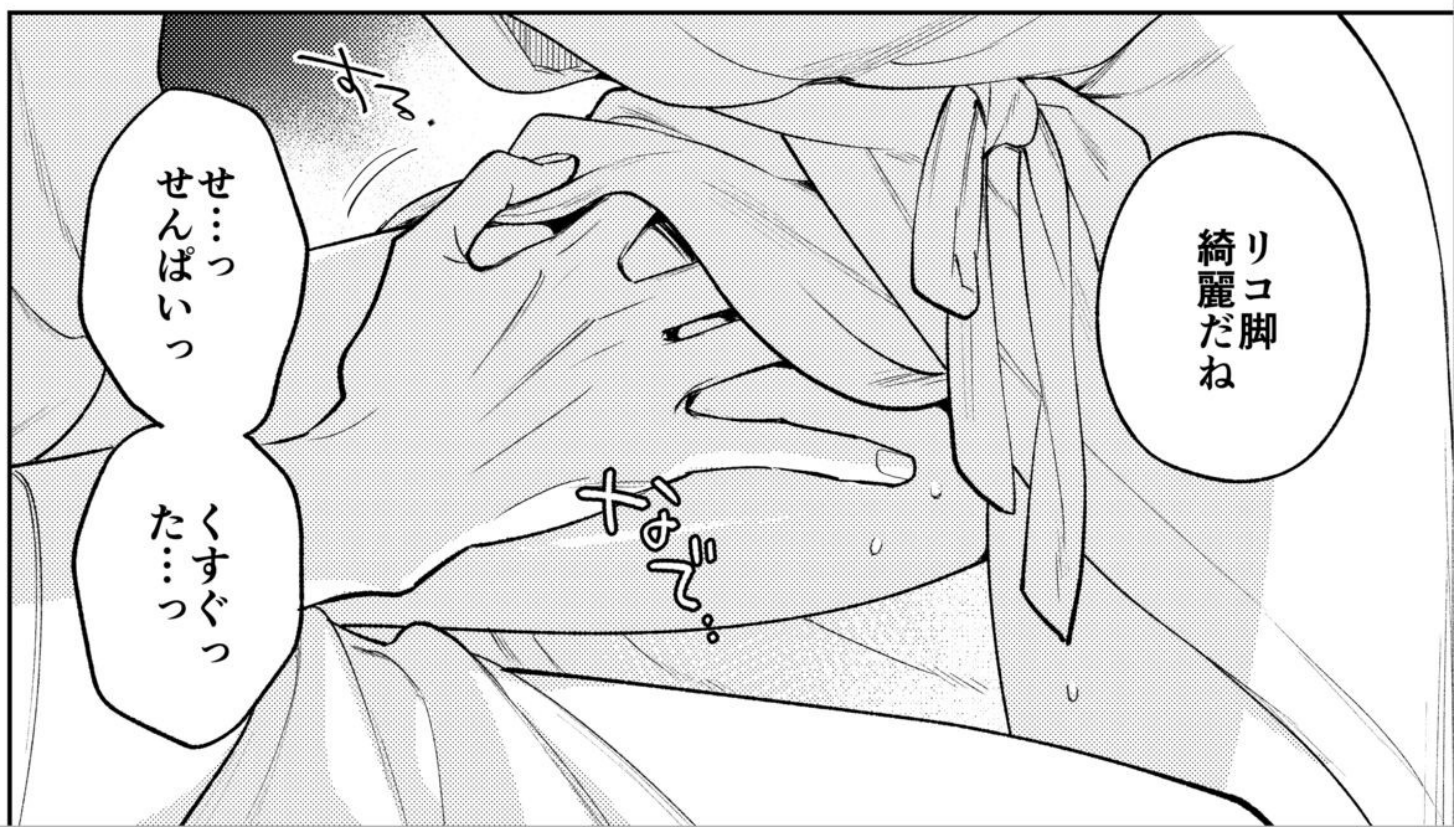
おにや…

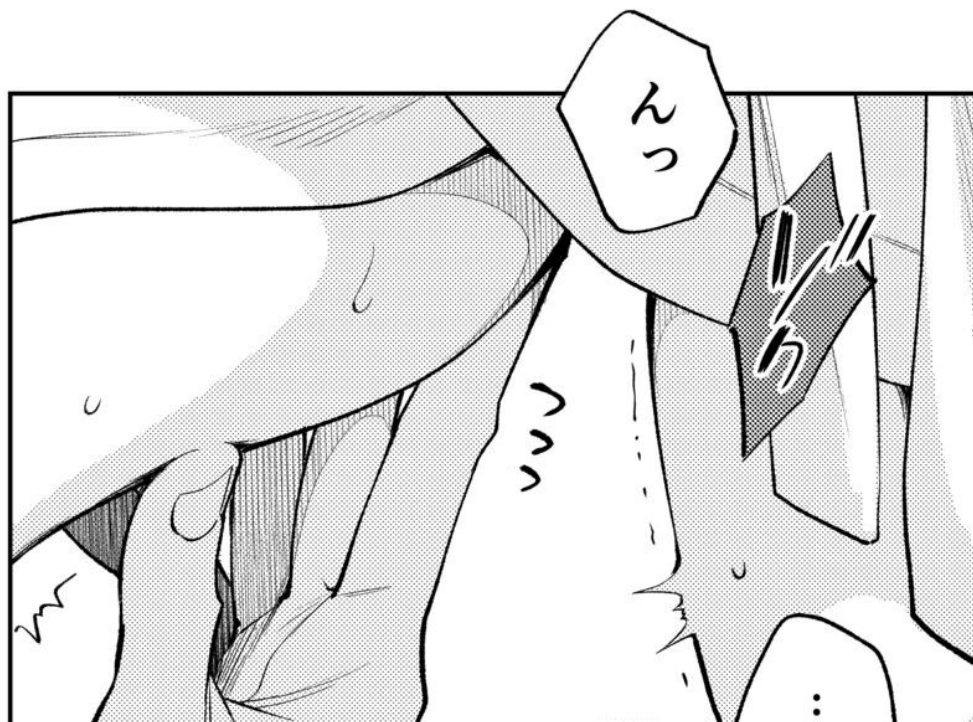
おにや…

















ちよつと
撫でただけで
こんなになっちゃう
なんて

昔じゃ想像
つかなかったよ



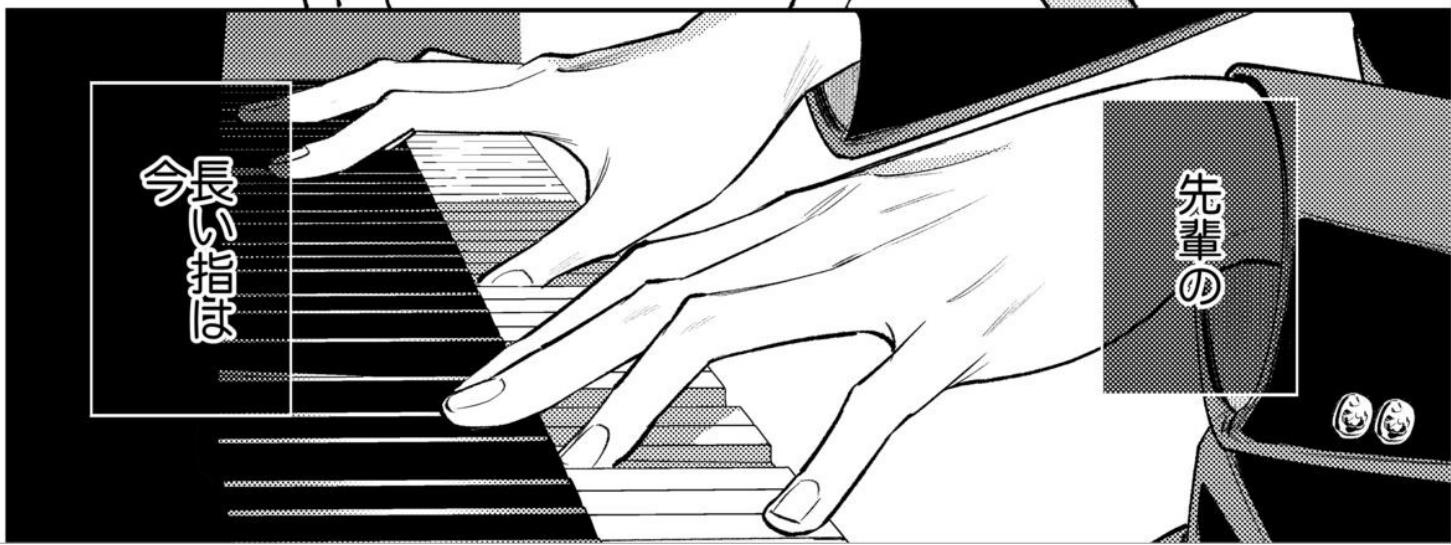
ちゃんと
見て

それは
こっちの
台詞――

め
すゅ
め

!

指が――



長い指は
今

先輩の





もっと
俺の手

よく見て





だめまた
いくついく...

ぐっ
ちゅ
ぐっ
ちゅ
ぐっ
ちゅ

ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ



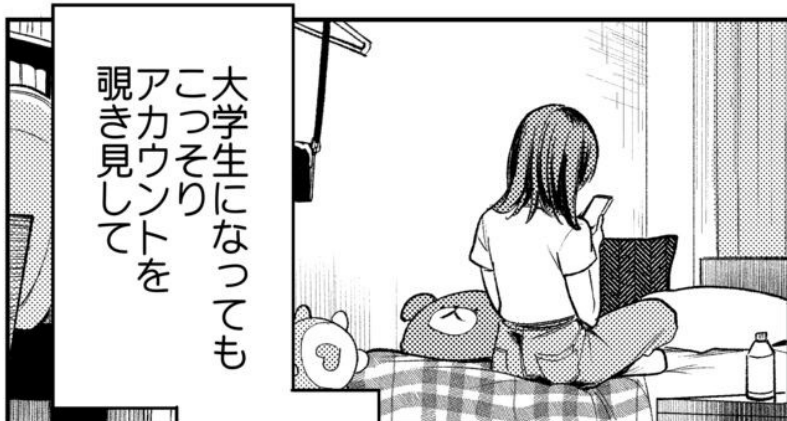
やらしいね

：すっごい
脚開いて
感じて...

はっ
はっ



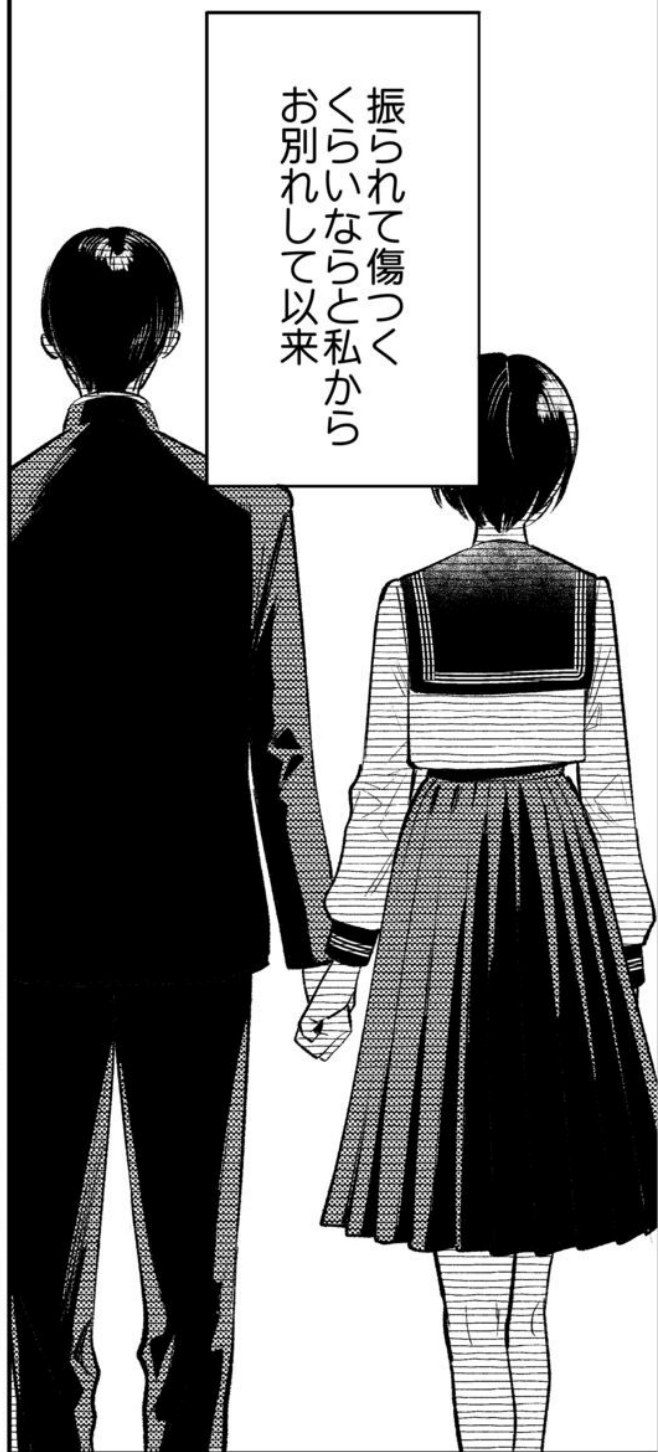
同じ高校に
入るために
勉強して



大学生になっても
こつそり
アカウントを
覗き見して



私から
先輩への
気持ち



振られて傷つく
くらいならと私から
お別れして以来



執着
そのものだった

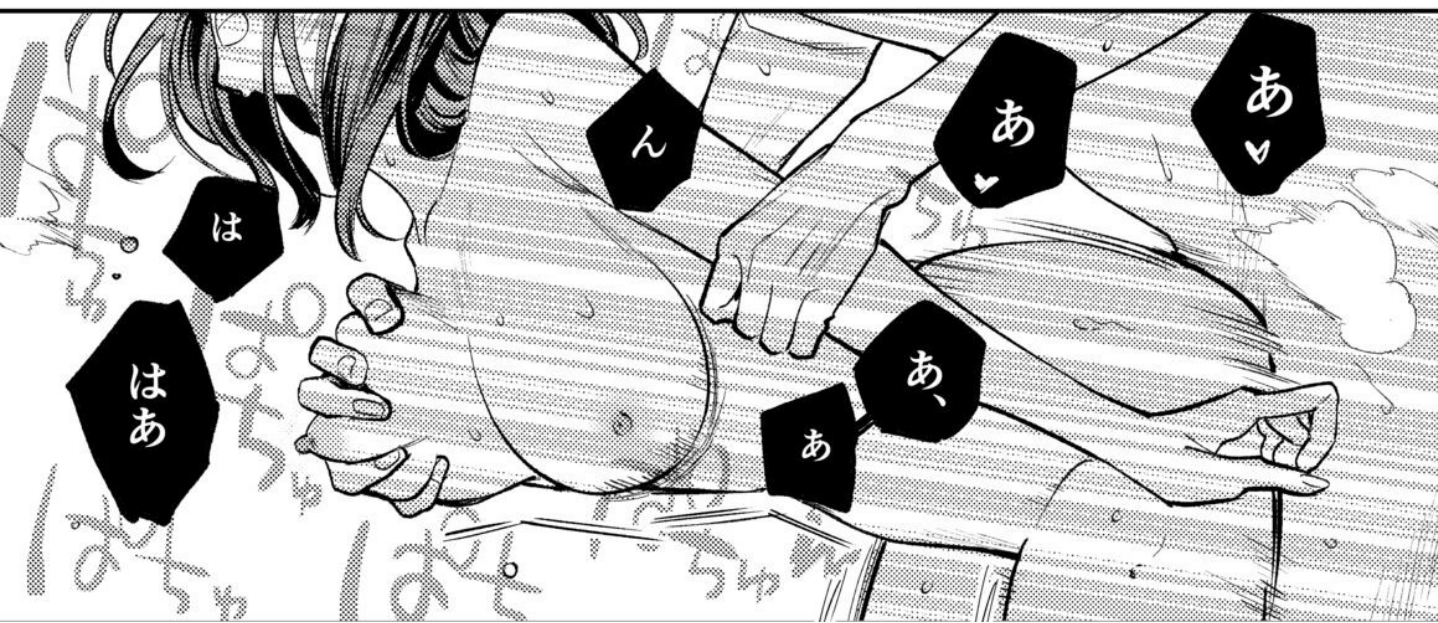
はー

はー

はー









中学の頃とは
比べものにならない感覚

は…

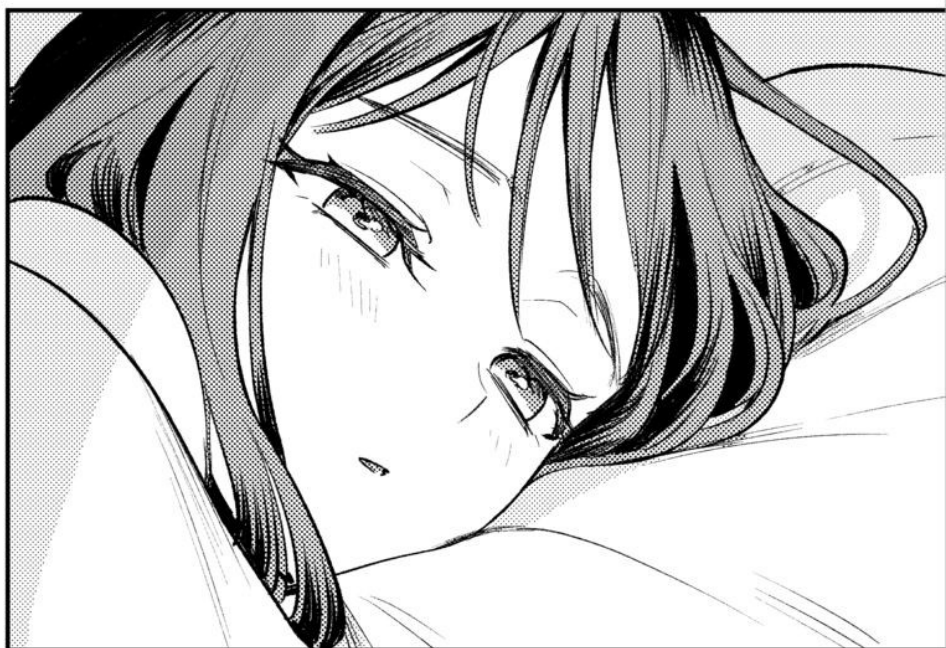
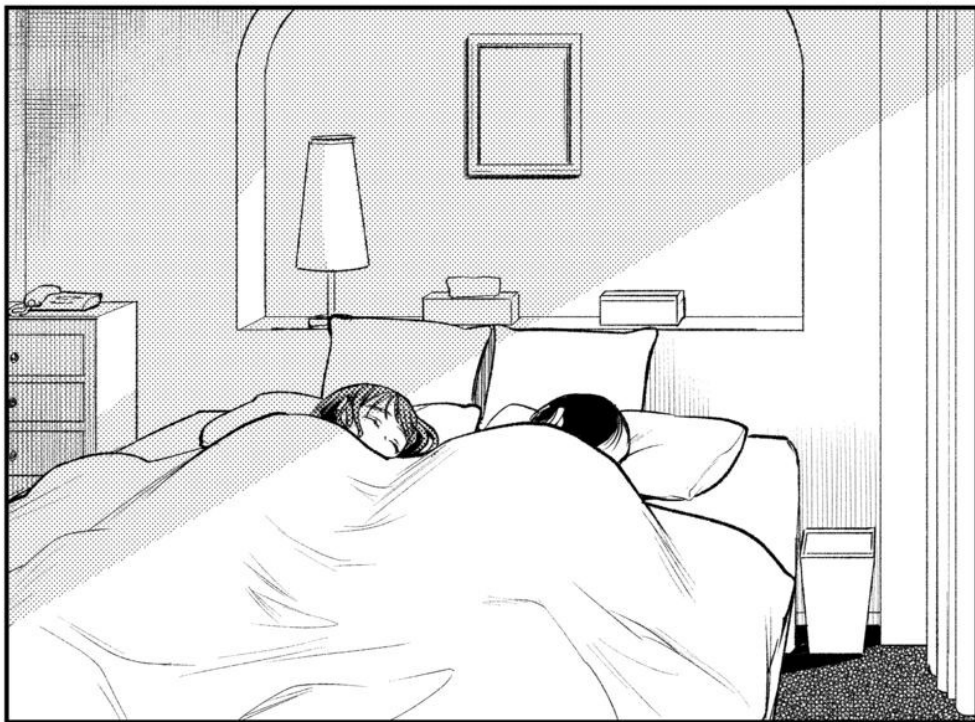
憧れ続けた
彼と今

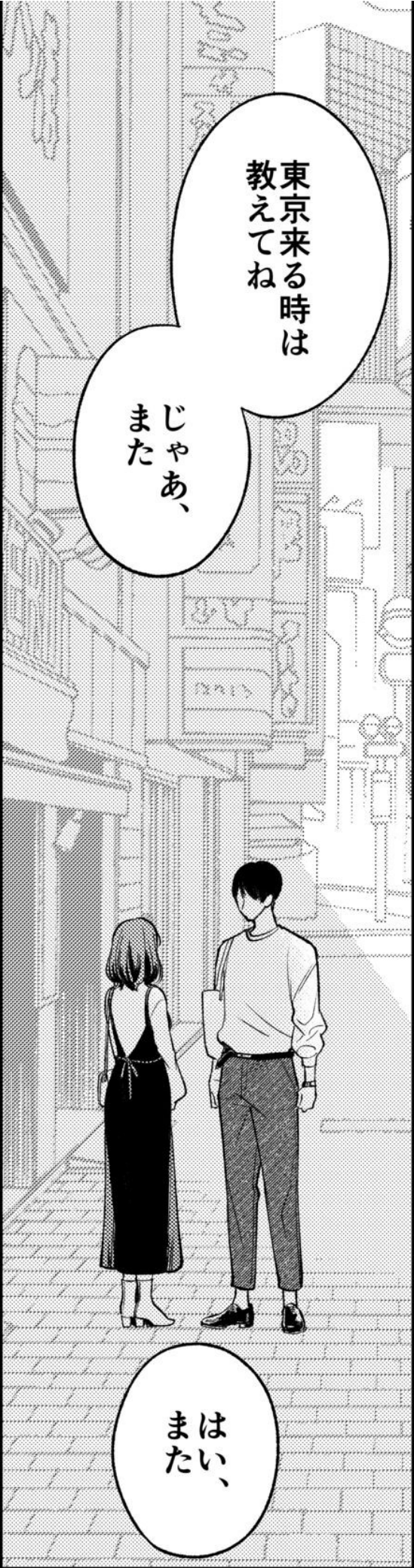
こんなにエロい
セックスを
している



身体的にも
精神的にも
凄まじい快感で

イッ
た





東京来る時は
教えてね

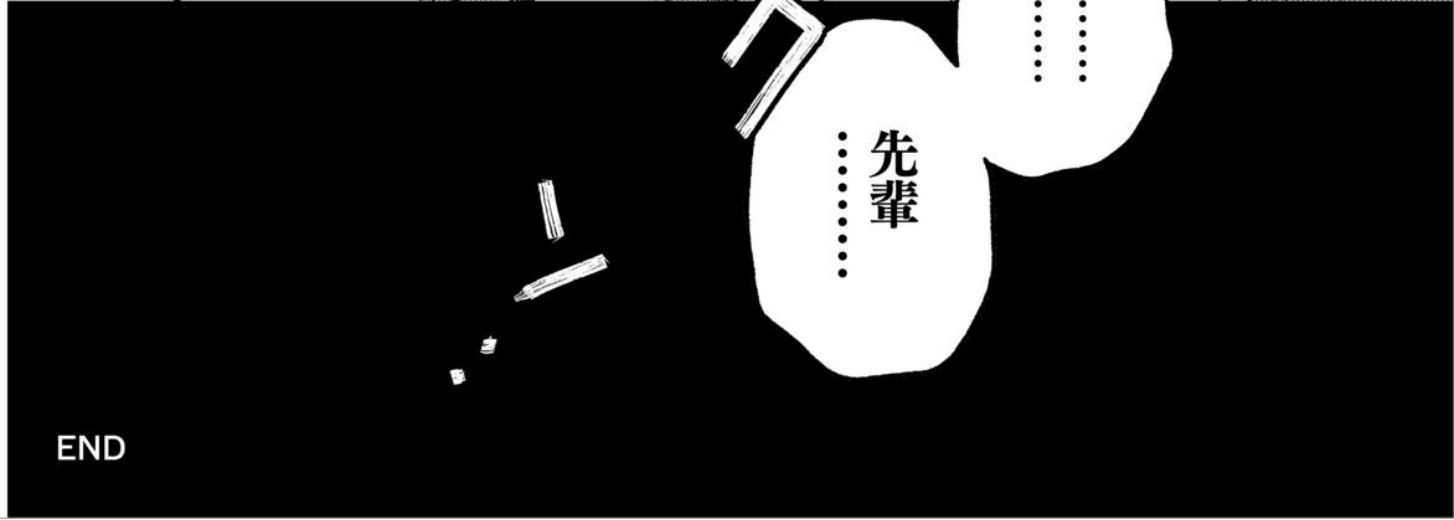
じゃあ、
また

はい、
またい、



その後先輩とは
しばらく定期的に
会ったけれど

結局本命に
なりたかった
叶わなかった



END

コミカライズを担当させていただきました、
閨あくあと申します。

THE猥談様の体験談ということで
漫画にさせていただくのも新鮮で楽しかったです。
憧れの先輩との、綺麗だけではない
複雑な思い出が香る原作の雰囲気を感じていただけると嬉しく思います。

漫画

閨あくあ

原作

THE猥談編集部

Twitter：@the_waidan

Instagram：@the__waidan

中学時代の憧れの先輩と再会したら、あの頃校歌を伴奏していた長い指で膣内を撫で回された

原案 - みおさんからのTHE猥談

THE猥談

中学生時代、一歳上の先輩に告白されて交際した。

先輩は周囲に比べて群を抜いて成績がよく
顔立ちも綺麗だったから、
田舎の公立校の中では一目置かれていた。

しかもピアノの弾けるおぼっちゃまでもあり、
彼の指は長くて美しかった。
(大袈裟かもしれないけど、その彼に見染められたということが
今なお私の自尊心を支えているとさえ感じる)

体育館裏でお互い初めてのキスをして、
ジャージの上から身体を触り合った。が、それ以上は
お互いどうにも踏み出せなくて、セックスには至らなかった。

そしてこの年代のカップルにありがちなことで、
交際は長続きしなかった。私が別れを切り出した。
交際が始まって先輩のことが高嶺の花としか思えなかった。
振られて傷つくくらいなら…なんて卑怯な考えもあって、
耐えきれず適当な理由をつけて半ば強引にお別れしたのだった。

本当はめちゃくちゃ好きだった。
高校は猛勉強して先輩と同じ所に入學した。

高校、大学とこっそりTw○tterのアカウントを
覗き見し続けていた。お別れしてからというもの、
私から先輩への気持ちは執着そのものだった。

時は過ぎ、私は地元の大学の2年生。
彼は上京して大学3年生。

イン○タの知り合いリストに先輩のアカウントが現れて、
思わずDMを飛ばした。

「どうも」。

照れ隠しでそっけない連絡を送ったけど、
やりとりは盛り上がり、流れて先輩の帰省に合わせて会う事に。
2人きりで会うのは、付き合っていた時以来だから約5年ぶり。

地元の駅構内のスターバックスで待ち合わせ。
カウンター席に座っていると背後から、
首元を撫でるように肩に触れられる。
ゾクゾクとして振り返ると、端正な顔立ちの男が
「ほんとにいる」といたずらっぽく笑いながら私に言う。

先輩だ。変わってない。
そういう、境界線のない行為を軽くする人なのである。
そういう所ときめいて、彼のやることなすこと全てに
ドキドキして、信じきれなくて苦しんで、
お別れしたことを思い出す。

けれど私とて、あの頃のピュアな少女ではない。
過去の記憶を反芻しつつも、今この男を前にして
私が自覚するのは、性的な興奮だった。

そこからは早かった。
2人で少し買い物をした後、居酒屋へ。
段々と酔いが回り、話題は付き合っていた頃の話に。

「先輩のこと本当に好きだった。
別れたのだから好きすぎて不安だったの。今だから言えるけどね笑」

「知らなかった。なんか悔しい」

「もう遅いよー。今は何されても心動かないと思う笑」

「ふーん。キスしても好きにならない？」

「ならないね」

「・・・これ以上しても好きにならないでいられるの？」

「なんないよ〜試してみなよ」

分かりきった展開だけど、期待と興奮を楽しみながら
挑発的な言葉を交わした。そんな風にして、
居酒屋からホテルへ向かった。

シャワーを浴びると、バスローブ姿の彼がベッドにいる。
電気を消して、どちらからともなく抱き合った。

ああ、先輩の初めてにはなれなかったんだな、と思う。

先輩の綺麗で大きな手が私の胸に触れる。
指先で執拗に先端を弄っては、楽しそうに反応をうかがっている。

それから先輩の手は私の隠部に伸びて、
先輩の長い指が入ってくる。
良い所を探索するかのようにじゅくじゅくと
私の反応を確かめながら動かして、
「ここ？」「あー、ここなんだ」
「気持ちいいね」と声をかけてくる。

たっぷり愛撫され、挿入された。
私の腰をつかむ先輩の手が少しずつ強引になる。

こんなに恥ずかしくて気持ちいいの、
後にも先にも初めてだった。

あの頃、キスより先にはどうしても進めなかった私達。
憧れ続けた彼と、今こんなにエロいセックスをしている。
身体的にも精神的にも凄まじい快感で、イッた。

その後先輩とはしばらく定期的に会って、
私の中では先輩への思いが完全に再燃してしまったわけだけど、
結局本命になりたい思いは叶わなかった。

今日も、フォローはしてない先輩のTw○tterを覗き見、
先輩とのセックスの快感を思い出している。

